

安保関連法案強行採決に断固抗議する！ 法案を直ちに撤回せよ！

自民、公明両党は本日午後、衆議院本会議において、集団的自衛権の行使容認を含む安全保障関連法案（いわゆる「戦争法案」）の採決を強行し、参議院に送付しました。野党5党は、抗議の意味で本会議採決には応じませんでした。安倍政権の強行採決に断固抗議すると共に、法案の撤回を求めます。

安倍首相は「残念ながらまだ国民の理解はない」としつつ、このような暴挙に出るということは、自ら民主主義を否定したことを公言したことに他なりません。また審議においても、野党議員からの質問に対しては、全く答弁にはなっていないのです。

連日、国会前をはじめ、全国各地で抗議集会やデモが繰り広げられました。このように、憲法違反を行い、民意を平然と無視し続ける安倍政権に、政治を語る資格はありません。かつて、麻生元首相が「ナチスの手法を学ぶ」と公言したことが、まさに現実味を帯びてきています。

安倍首相は「国民を守るために必要な法案」と主張しています。戦争は、いつの時代でも国の権力者の利益を守るために国民が命を差し出すのです。「国防」という名で国民が命を落とすのです。安倍政権の詭弁に騙されてはなりません。

今後、参議院においても、国民の理解が得られるような審議はされないまま60日ルールが適用される、または賛成多数で可決されることは容易に予測されます。さらに将来的に、一般市民・労働者が戦場に駆り出される体勢もつくられてもおかしくはありません。

JR東海労は、戦争政策に反対する全ての人たちと連帯し、「戦争のできる国」づくりを許さない闘いを展開していきます。

憲法違反がまかり通る政治！独裁国家に突き進むのか！？